

日本ソーシャルワーク学会
2023年度研究セミナー

ジェンダーをめぐる ソーシャルワークの課題： 政策動向と支援課題

2024年3月9日（土）13：00～16：30

明治学院大学白金キャンパス

本館2階1201教室 東京都港区白金台1-2-37

基調講演（13：05～13：55）

大嶋 栄子氏（NPO法人リカバリー代表）

「わたしたちのなかにあるジェンダー規範の困難に
ソーシャルワークはどう向き合うのか（仮）」

シンポジウム（14：00～16：25）

発題者① 「困難女性支援法のポイントと支援課題」

湯澤 直美氏（立教大学）

発題者② 「LGBT理解増進法のポイントと支援課題」

神谷 悠一氏（LGBT法連合会事務局長）

発題者③ 「刑法改正のポイントと支援課題」

後藤 弘子氏（千葉大学）

コメンテーター 宮崎 理氏（明治学院大学）

司会・企画：横山 登志子（札幌学院大学）

申し込み先：2024年3月6日（水）17時までに、参加者ごとに以下に
入力してください。

[HTTPS://PEATIX.COM/EVENT/3811922/VIEW](https://peatix.com/event/3811922/view)



ジェンダーをめぐる、近年の政策動向は活発です。「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」「LGBT理解増進法」の創設や、刑法の大幅改正などは、ジェンダーに由来する構造的な抑圧が存在することを示唆し、ソーシャルワークにおいてもさまざまな支援課題が想定されます。本研究セミナーでは、ジェンダーをめぐる近年の政策動向の基本理解とソーシャルワークの支援課題を検討する機会とします。